

としよかんだより

しょうがつ
お正月・ふゆ・いぬ

2018年1月号 No.154
発行：桑名市立中央図書館
電話：0594-22-0562
FAX：0594-22-0795



- えほん** 『おせちいっかのおしょうがつ』(わたなべ あや/作)
 『おばあちゃんのくりきんとん』(やまなか ももこ/作)
 『ゆきのひはあつあつ』(いわむら かすお/絵と文)
 『かまくらかまくらゆきのいえ』(あまん きみこ/作)
 『子いぬの かいかた しってるかい!?』(モーリス・センダック/作)
 『さいごのこいぬ』(フランク・アシュ/文・絵)
 『ハリーのセーター』(ジーン・ジオン/文)

- 児童書** 『もっと知りたい! 十二支のひみつ』(大高 成元/著)
 『おもちの大研究』(笠原 秀/著)
 『しもばしら』(細島 雅代/写真)
 『森のネズミの雪あそび』(岡野 薫子/作)
 『犬のことはば辞典』(きたやま ようこ/作)



特集コーナーの前のテーブル情報

成年に因んだオススメ本リスト作成中!

対象別『この本知ってる?』どうぞご利用ください!!

☆ティーンズの棚をご利用のみなさんへ
 今月の特集も『スタッフおすすめ本』です。
 この機会に☆じっくり読みたい物語☆10代に読んで
 おきたかった!と思う本☆話のタネになる知識が広
 がる本を読んでみてください!

職場体験生が読み聞かせをしてみました!

『もうおきるかな?』KAEキ

まつの まさこ/文 0・1・2えほんの 楠

本のだいめい

もう おきるかな?

こんなどころがおすすし!

1つ1つどうぶつによって
 わているところやおきるところが
 ちがっておすすめです。

なまえ(ペンネーム)
 こっちゃん

ねんれい 16 さい

『コロちゃんのおさんぽ』KAEヒ

エリック・ヒル/作 0・1・2えほんの 楠

本のだいめい

コロちゃんの
 おさんぽ

こんなどころがおすすし!

しかげえほんで、色々動かせるのが!
 楽しいところ!! 聞く、見る、だけでなく
 手でさわって楽しめるのも、おすすめです!!

なまえ(ペンネーム)
 一葉

ねんれい 14 さい



本を点検するためのお休みのお知らせ

中央図書館では1年に1回長いお休みをもらって
 本がまちがった棚に入っていないか、本がなくなって
 いないかを確認しています。

お休みの期間 2/2(金)~2/7(水)

お休み前の1月19日(金)から2月1日(木)まで
 に借りていただいた としよ・かみしばいの貸出期間
 は3週間になります。1月26日(金)から2月1日(木)
 までに借りていただいたCD・DVD等視聴覚資料は貸出
 期間が2週間になります。どうぞご利用ください。



この本しってる？

『はやくちことばでおでんもおんせん』(KAE 1) ポプラ社

川北 亮司/文 飯野 和好/絵 絵本⑩の棚 にあります



「はやくちことば」に挑戦してみませんか？
「こんにやく こんよく 老若男女」など、舌をかみそうになりながらも口に出して言うととても楽しい、ほかほかおでんの「はやくちことば」絵本です。作者の川北 亮司さんが「おでんもおんせんにつかったら おもしろいなあ」と空想して、飯野 和好さんがぴったりな絵を描いて、素敵な一冊になりました。(2017年刊)

『ボンネットの下をのぞいてみれば』(KTE537 0) 六耀社

エスター・ポーター/文 アンドレス・ロザノ/絵 絵本⑫の棚 にあります

たくさんの部品からできている自動車ですが、ふだんは外形やデザイン、車の色しか見えません。

車が どんなくみで動くのかを、ボンネットの下をのぞきながら、わかりやすく説明してくれます。エンジン、ギア、サスペンション、トランスミッションなど、難しい言葉は用語解説しています。

「絵本図鑑：その下はどうなっているの？」は4巻シリーズで、他に「皮ふ」「都市」「地面」の下をのぞいて見ることができます。(2017年刊)



現在貸出休止中のためご不便をおかけしています

ゆめはま文庫アンケートから 29



1才セットを借りてみたら (ゆめはまリスト掲載の本等、カウンターでご相談ください)

- 『だるまさんが』や『ちびごりらのちびちび』のお気に入りの絵本を見ると、とたんに表情が柔らかくなり「だるまさんが」と声をかけるとリズムを取ってくれます。ゴリラも見つめます。(0才9ヶ月)
- 月齢によって読める本が分かるので助かります。生後3カ月から寝る前に読んでいても寝る時はすごく泣いていたのですが、何度も「ゆめはま文庫」の絵本を読んでいると、同じ本を読むという流れが安心するようで、すごく大変だった寝かしつけが、ある日突然楽になりました。同じ本を読むと安心して幸せな気持ちで眠り、気持ちよく目覚めるようで、いつも寝る前に読んでいます。(1才1ヶ月)
- 最近動物を色々理解し、言えるようになってきたので『どうぶつのおやこ』を見せたくて借りました。表紙のねこは「ニャーニャ」犬は「ワンワン」さるは「ウキー」、中でも最近ぞうが好きで最後のページは「ぞうさん」と名前を言います。(1才4か月)
- 『でんぐりでんぐり』と同じポーズで、くるんとしてもらえるのを待っています。今、ぞうが好きで出てくると「ぞうさん」と言います。『おつきさまこんばんは』に「にこーっ」とします。(1才5か月)
- 『でんぐりでんぐり』では「ころんころん」の所を「こおーんこおーん」と言いながらでんぐりの真似をして楽しそうでした。いろんな動物がでてくるのを喜びます。(1才9か月)

1才を過ぎると絵本の中に出てくる動物を区別して指さしたり、知っている限りの言葉で鳴き声や名前を覚えてくれたりします。中でも「今、ぞうさんがすき」という声が多く寄せられたので1才セットを改めて確認してみました。Aセットの『いいおかお』『でんぐりでんぐり』Bセットの『どうぶつのおやこ』Cセットの『きんぎょがにげた』『ちびゴリラのちびちび』に「ぞうさん」が登場します。「ぞうさん」の絵と「ぞうさん」という名前が結びついた お子さんは1才セットの絵本の中にいろんな「ぞうさん」を見つけては、教えてくれ確かめているのですね。字が読めない分、子どもは大人の気づかない所まで絵を読んで、知っているものを見つけて大人に働きかけます。大きさも描かれ方も違う「ぞうさん」を理解して、言葉を聞きとり、実物とつないでいくのは人間特有の能力と言われます。実体験の不足を補ってくれる絵本をとおした親子の自然なやりとりの中から、子どもは認知力を伸ばし、世界を広げます。